

手にした人が喜ぶ

それが服作りの喜び

鈴木敦子さん（40歳）

前沢区白山字保志場



服を手にする人の笑顔を思い浮かべながら丁寧に縫い上げる

来年の奥州前沢42歳厄年連「猛威天殊会」で副会長兼総務部長を務める鈴木敦子さんは、インターネットを活用して子供服のオーダーメイドを請け負っている。のどかな田園風景が見える自宅のダイニングで、パソコンを傍らに置きミシンの音をリズムカルに響かせる。

幼少の頃から服作りに興味があった。一度は大学に進学したが、洋裁の道を諦めることができなかった。大学を中退し、文化服装学院へ進学。専門学校で学ぶ洋裁は、思い描いていたものだった。平面の型紙から立体的の洋服へ――。その工程がとても楽しかった。学校卒業後、フォーマルウェアメーカーの㈱東京ソワールに就職。結婚を機に退職する



すずき・あつこ◎昭和47年前沢区白山字保志場生まれ。手作り子供服販売「Common mama」とホームページ制作「Homepage Studio」を運営。家族は娘2人、息子1人と両親

までの5年間、学んだ知識を生かして腕を磨いた。

平成14年、30歳で地元に戻り、子育てをしながら手作り洋服のネット販売を開始。子供服を中心に販売したが、インターネットの知識がなく悩みは尽きなかった。その状況から抜け出そうと、独学で知識を蓄え、ホームページを開設。これを機にリピーターとなる顧客が付いた。今では喜びの声も多くあり、その声を糧に服作りに取り組んでいる。現在、ホームページやブログ制作の仕事も手掛けている。厄年連の活動も本格化し、多忙な毎日過ごす敦子さん。「努力は報われ、相手に伝わる。その成果が自分の喜び」と、感謝の気持ちを忘れず、これからも全力で走り続ける。

CONTENTS

- 2 情熱の奥州人
- 4 特集 石淵ダムから胆沢ダムへ
- 8 市官民協働型政策提言組織からの第3次提言
- 12 平成24年度市勢功労表彰
平成25年新年交賀会のお知らせ
- 13 全国表彰を受けた皆さん
マイクロホットスポットを除染
- 14 奥州三大マラソン2012 グラフ
- 16 財政状況の公表
- 17 ILC希望のひかり
- 18 結 - ゆい - ～30の地区振興会による協働のまちづくり実践事例～
- 19 市の出来事から
- 20 まちの話題
- 22 つながれ 広がれ NPOの輪
- 24 子そだて広場
市長コラム「おうしゅう羅針盤」
- 25 地域安全情報
わが家のアイドル
子ども喜ぶ人気メニュー
- 26 キラリ人輝く
夢トーク
- 27 クラブ紹介
ぽんたのつぶやき
- 28 くらしの情報
- 32 奥州遺産

〈今月の表紙〉



市立前沢小学校（及川芙美子校長・児童385人）の「あきんど体験」が11月10日、前沢区三日町商店街で行われ、5年生67人が参加しました。

同商店街の空き店舗や倉庫などを活用し、肉屋や魚屋、八百屋など8店舗を営業。元気いっぱいと呼び掛けながら商品販売に挑戦しました。参加者の菅原悠希さんは「買ってもらった時、すごくうれしかった」と、接客しての販売で喜びを感じていました。